

(3)

鉄鋼

(第3種郵便物認可)

日刊産業新聞 23.10.3

紅忠スチール統合発足10周年



大越政幸社長

「10周年を迎えたい。歴史が残り、これからの10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

「歴史が残り、これからの10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

伊藤忠丸鋼スチールAP(AP)と紅忠オートスチール(AS)が2013年に統合してから10周年を迎える紅忠スチール。この10年、激動するマーケットの中で着実に存在感を高めてきた。伊藤忠丸鋼スチール(MIS)グループの中核商社として薄板建材分野を担うAPと、自動車鋼材取引特化したASが、プロ集団として顧客ニーズに応えてきた。10周年に對する思い、未来に向けた方針を大越政幸社長に聞いた。

SCMのプロ人材確保

「SCMのプロ集団であるAP、P、個性あふれる野武士軍団だった和泉鋼業を継承し、国内自動車用鋼板・レド専門部隊として常に自動車SCMのプロ集団を育成してきた。この10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

「SCMのプロ集団であるAP、P、個性あふれる野武士軍団だった和泉鋼業を継承し、国内自動車用鋼板・レド専門部隊として常に自動車SCMのプロ集団を育成してきた。この10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

「SCMのプロ集団であるAP、P、個性あふれる野武士軍団だった和泉鋼業を継承し、国内自動車用鋼板・レド専門部隊として常に自動車SCMのプロ集団を育成してきた。この10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

「SCMのプロ集団であるAP、P、個性あふれる野武士軍団だった和泉鋼業を継承し、国内自動車用鋼板・レド専門部隊として常に自動車SCMのプロ集団を育成してきた。この10年、着実に成長を遂げたい。この10年、着実に成長を遂げたい。」

製造業国内回帰、躍進のチャンス

「4月から新たな組織を立ち上げた。一年度から社長直轄情報部として『業務効果改善』新ビジネス領域を開拓し、鋼材受給管理プラットフォーム構築による社内デリア業務の効率化、客先への情報提供の迅速化分析までサステイブルな取り組みを進めている。働き方改革の抜本的なプロジェクトで、ITリテラシー向上プログラムも策定し、推進する。新ビジネス領域開拓では、上期だけで8つの分野に布石を打ち、そのうちの1つは今、完全な御縁がなかった。社内での得意分野を積極的に開拓し、協業を進めたい。準備が出来た。時代が求め、新しい何かと結びつける。多様な人材を確保し、大きな力を発揮したい。これからの紅忠」

未来志向。紅忠スチール

- 紅忠スチールは10周年を迎え、新たなチャレンジを進めていく。具体的な方策を紹介する。
- ①「Benichu Steel Next10」10年後の2033年の未来の姿を見据えた「紅忠スチールnext10」を社員からの提案をもとに将来に向けた10の方針を決定。24-26年の中期経営計画に反映する。
 - ②人事制度改革 職務内容や昇格基準の明確化、総合職は複線化（経営者育成とSCMマスターコース）、一般職は地域限定総合職に近い、特定総合職という新たなコースを制定。個々の得意分野・専門性をより生かす為の処遇を導入し、優秀な人材を確保する。
 - ③情報サービスを拡充 自動車鋼材自販部隊で取引ポータルサイトB-ringsポータルサイト、当社独自のデジタルアプローチにより情報共有のSPEED化を展開中。MISIが開発した温室効果ガス排出量可視化・算定・分析サービスの「MieCO2」(ミエコ)などの先端サービスも武器にして、お客様の未来に向けた環境課題解決を一緒に取り組んでいく。
 - ④国内外での積極展開 建材部で事業提携、M&Aなどによる事業拡大に取り組む。九州営業所に建築資材プロジェクト室を置く。MISIの事業ネットワークにより国内住宅メーカーの商品を海外に展開。

日刊産業新聞 23.10.3